



おしゃか様 月遅れ 大祭

こんにちは。住職の尾藤宏明です。お釈迦様(仏教の開祖)の誕生日をご存知ですか。

4月8日が、お誕生日ですね。本光寺では、旧暦に当たる5月8日に合わせて、月遅れの春の大祭『月遅れ 釈尊降誕会』を行います。

お釈迦様は生まれてすぐ四方に7歩ずつ歩み、右手で天、左手で地を指さし、〈天上天下唯我独尊〉(わたくしは世の中の最勝者である)といったと伝えられています。

一般的には甘茶を頂く日として馴染まれています。様々な草花で飾った花御堂の中、甘茶を満たした灌仏桶の中央へ安置した誕生仏像に柄杓で甘茶を掛けて祝いますが、お釈迦様が生まれたときに産湯を使わせるために9つの竜が天から清浄の水を注いだとの伝説に由来しています。甘茶は甘葛(あまずら)との区別が古来明確でなかったから、砂糖が普及する

までは甘味料として飲食に供されていたとされています。

本光寺でも檀家、親和会、甲子講の会員限定の行事として、毎年営まれていますので、皆様のご参加をお待ちしています。

光胤山本光寺 35世住職 尾藤宏明 合掌

住職のちょっといい話 ②

今回は子宝祈願の方のお宮参りの話です。

昨年の夏、お盆経で外出するときに、ちょうど1台の車が入ってきました。

駐車場が満車だったので、「しばらくすると空くと思いますから…」と一声かけて、外出しました。

その時、車内には小さいお子様がたくさんいらした感じでした。

お盆経から戻ると、「四つ子ちゃんがお宮参りに来ましたよ!(^v^)」と寺務所員が教えてくれました。そういえば…

ご夫婦は、ずっと不妊治療をされていて長年お子様に恵まれず、昨年に子宝祈願をお受けになっていました。四つ子ちゃん、おめでとうございます!!

本光寺の子授けを守護する子授守護子安鬼子母神のご利益は凄いな!と

改めて感動しました。

子授守護子安鬼子母神
(きしもじん)



本光寺本堂のご紹介

今回は本光寺の本堂のご紹介をさせて頂きたいと思います。皆さんも一度はご覧になったことがあると思いますがじっくり見たことはあまりないと思いますのでこれを機会にぜひ足を運んでください。

なぜ本堂は、きらびやかに飾られているのでしょうか。

本光寺はご承知の通り日蓮宗の由緒あるお寺です。本堂は、後日個別に紹介させていただきますが、正面上段には、宝塔とともに、釈迦如来・多宝如来の二尊が鎮座されています。その脇を大曼荼羅の通りの諸仏諸菩薩、諸天善神が鎮座され、正面の中段には、宗祖日蓮聖人が鎮座されています。

お寺の本堂は、日蓮宗の「靈山浄土」を表し、お亡くなりになった方々をお導きさせて頂いているからです。

「靈山浄土」とは何でしょうか。簡単に言えば、お釈迦様が法華経を説かれた場所です。法華経は、お釈迦様の教えであると共に、日々の生き方が説かれています。

難しい話になってしまいましたが、今年は、法華経、お釈迦様、日蓮聖人等のご紹介を少しずつさせて頂きたいとおもっています。そして本光寺をもっとわかっていただきたいと思います。



35 世住職 尾藤宏明 合掌

ご報告 事項



本光寺の出来事

本光寺で、毎年恒例の行事とは別に起こった出来事について簡単にご説明させていただきます。

本堂の天井に仏画（花卉）を72枚設置しました。蓮（はす）の花弁は、お釈迦様生誕に関係しています。

新盆供養のお布施にて、天蓋（てんがい）、幢幡（どうばん）の修復を行いました。

「はひふへ本光寺」では、お寺の出来事や、住職が考えていること、住職が身を持って体験した「ちょっと良い話」などをご紹介します。

本光寺のホームページやブログでもご紹介していますので、ぜひ見てください。

